

春ー3 春からスタート

1. 活動の目的

- ①日本の年中行事を通して季節と行事の楽しみ方を知る。
- ②学習者が大切にしている母国、家族、個人の年中行事について話す。
- ③自分の1年を展望する。

2. 準備するもの (☆は教材ファイルにあるもの)

☆私の1年カレンダー (コピーして各自に配布)

☆今年のカレンダー

☆国民の祝日(ボランティア用)

3. 活動の手順

発：発展的活動

留：留意点

参：参考

活動1

- ・学習者の国では、学校の新学期はいつか、新社会人の入社時期が決まっているか聞いてみる。
- ・日本人は四季を楽しむというが、学習者も自然の移り変わりや季節の行事を楽しんでいるか聞いてみる。
- ・四季があっていいと思うこと、ない方がいいと思うことを聞いてみる。
- ・表の日本の四季はテキストに書いたように分けられるが、近年の気候変動により少しずつ変わっているし、北海道や沖縄では四季の感覚が違うことも話す。
- ・学習者が住んでいた所の季節や時期の分け方を書いてもらう。

活動2

- ・イラストを見て日本の行事の季節を知る。
春→ひな祭り(3月)、母の日(5月)。
夏→七夕(7月)、盆踊り(8月)。
秋→お月見(9月)、運動会(10月)。
冬→バレンタインデー(2月)、もちつき(12月)。
- ・日本古来の行事と、バレンタインデーや母の日のように外国から入ってきて、既に日本の行事になっている物があることを知る。
- ・学習者の国の行事を話してもらう。

活動3

私の1年
カレンダー

- ・資料の「私の1年カレンダー」を各自に渡し、記入のしかたを説明する。
 - ・日本の1年の欄には活動1と2にある行事を書き入れる。月は上記のとおり。私の1年の欄には、国の1年、家族の1年など、好きなものを加えて自分だけのカレンダーを作る。
- 例：家族旅行、国の正月、〇〇の運動会、等々。
- ・完成したら家に持ち帰りどこかに貼って、活用してもらうのも良い。

参 「私の1年カレンダー」の日本の1年欄には、自分の住んでいる地域に興味を持てるように大阪の行事を2つ入れてある。

活動4

今年の
カレンダー
国民の祝日

- ・実際に今年のカレンダーで、祝日を数える。
 - ・それぞれの祝日の読み方は「国民の祝日」を参考にする。
 - ・日本の祝日から3つ選びどんな日か紹介する。
 - ・その3つに似た祝日が学習者の国にあるか聞いてみる。
- 「天皇誕生日」は、海外によくある偉人、有名人の名前のついた祝日が連想できるよう、選んだ。

参 国民の祝日、国民の休日等については「国民の祝日」（内閣府ホームページより抜粋したリスト）ボランティア用を参考にする。これを学習者に見せて、逐一詳しく説明する必要は無いが、学習者のレベルや興味によっては臨機応変に対応する。

留 祝日に変更した場合は、最新のリストを用意する。